



学校安全だより

第5号
令和6年7月8日(月)
南三陸町立戸倉小学校

防犯訓練・防犯教室(7月3日)

児童の登校後、校舎の出入り口は目の届く範囲以外全て施錠しています。しかし、いつどこから不審者が校舎内に入って来るか分かりません。今年の防犯訓練は、実際を想定し、不審者に扮した警察官がどこからどのように侵入してくるのか職員も分からず状態で実施しました。緊張感の中、男性職員は不審者役に対峙しました。

児童は、安全タイムでの経験を生かし、静かに息をひそめて、自分の命を守る行動を取っていました。

業前の安全タイムで…(6/26)

不審者が校舎内に侵入したら…という設定で実施しました。身をひそめ待機する子供たちにもしっかり考えて行動してほしいと思い、「避難行動・避難姿勢」を学年ごとに子供たちで相談してもらいました。

「鍵をかける」「電気を消す」「カーテンを閉める」「小窓から中が見えないようテレビで目隠しする」「陰に身を隠す」等、短時間で「避難行動・避難姿勢」を取ることができました。低学年でも自分で考え、話し合いを進めることができました。

また、「鍵のかかる教室」が安全ということを知り、特別教室への移動の際にも教室ごとに鍵チェックをする子もいたようです。

子供たち自身が考え、行動したことで、いざという時にも自分の身を守れる行動が取れるようになってほしいと思います。



いざという時にしっかり
大きな声を出せるよう、「助
けて～！」とみんなで大きな
声を出す練習をしました。

防犯教室では南三陸警察署の警察官と「いかのおすし」の確認と防犯ブザーの使い方の確認を行いました。ランドセルに防犯ブザーが付いていない子や、電池切れ等で作動しない子がいました。

なかなか大きな声を出せない子供たちの身を守る大事な防犯ブザーです。ぜひ、ご家庭で確認をお願いします。